

スカイプラットフォーム用アクティオオリジナル 『かさ上げブラケット』レンタル開始 資機材を安全・迅速に搬入 工期短縮を実現

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO:小沼直人、以下アクティオ)は、建設現場で安全かつ迅速に資機材の搬入を可能にするスカイプラットフォームのオプションとして、アクティオオリジナル『かさ上げブラケット』のレンタルを、2023年2月1日(水)から開始いたします。



スカイプラットフォーム本体



かさ上げブラケット

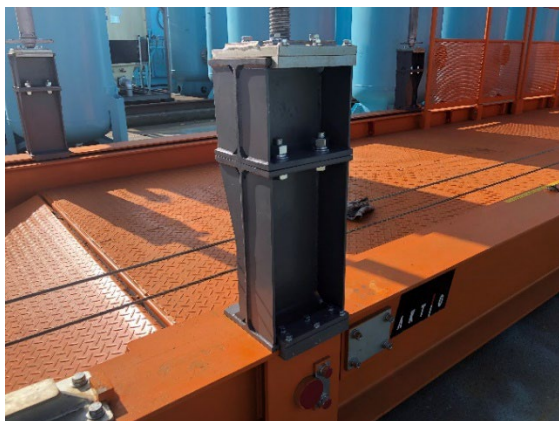
現在、商業・オフィスビルなどの建設現場の各階に資機材を搬入するためには、工事用エレベーターを使用するのが一般的ですが、多くの現場ではエレベーターの台数が少なく、大量の資機材を運び入れることが難しいという現状があります。そのため、夜間に各階へ資機材を運搬するなど、業務効率が悪い作業が発生しています。そこで活躍するのが荷台を建物内からスライドして、クレーンで吊った資機材を受け入れ、建物内にスライド収納することができるスカイプラットフォームです。より効率よく荷受けを行うことができる商品です。

しかし、昨今の電子商取引(EC)市場の伸長によって、物流倉庫の建設が急拡大しており、高い天井高の倉庫に対処するような建設現場も多く、従来の「スカイプラットフォーム」のサポート(支柱)では届かない現場も急増しています。

今回、そのような問題を解決するため、新たにアクティオオリジナル『かさ上げブラケット』を開発し、従来の「スカイプラットフォーム」のサポート(支柱)では、届かなかった天井高にも対応できる商品として完成させました。アクティオオリジナル『かさ上げブラケット』を使用することで、安全、迅速に資機材の搬入が可能となり、工期の短縮を実現していきます。

アクティオは今後も「レンタルディング」のノウハウを活かし、業務効率化に役立つ様々な製品やサービスを提供していきます。

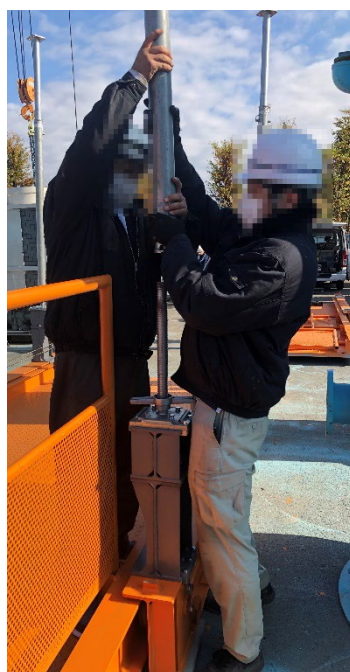
■アクティオオリジナル『かさ上げブラケット』



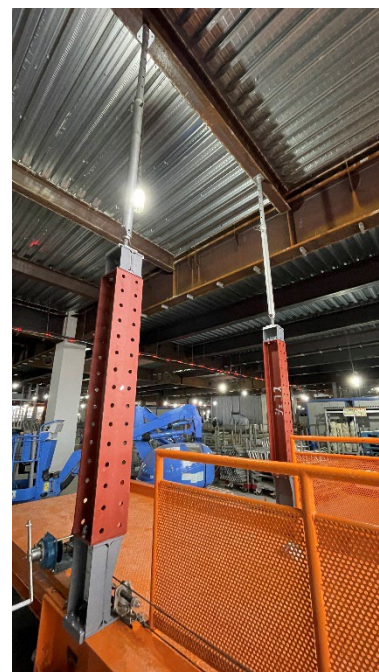
アクティオオリジナル『かさ上げブラケット』



従来のサポート(支柱)



『かさ上げブラケット』とサポート(支柱)



『かさ上げブラケット』とサポート(支柱)の間に山留材をはさむ

■かさ上げブラケット スペック

全高H	(mm)	最大 525
質量	(kg)	約 25

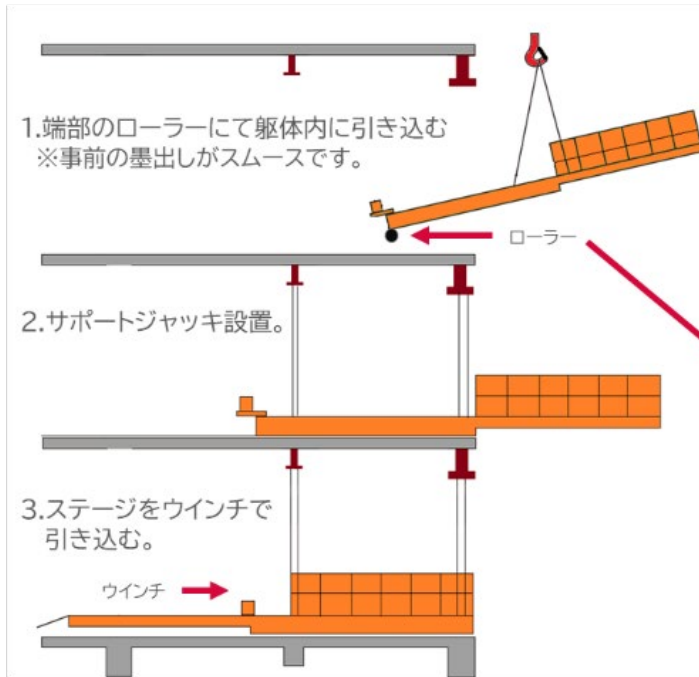
■サポート(支柱)スペック

タイプ	ショート			ミドル			
	1.0	1.5	3.8	1.0	1.5	3.8	
対応クラス	(t)	1.0	1.5	3.8	1.0	1.5	3.8
許容荷重	(t)	5			5		
全長L	(mm)	1,450~2,500			2,450~3,750		
対応高さ (梁下~床 CON 天端)	(mm)	1,750~ 2,800	1,800~ 2,850		2,750~ 4,050	2,800~ 4,100	
質量(1本あたり)	(kg)	21.0			27.5		

■「スカイプラットフォーム」特徴

- ・現場内の垂直運搬の効率化
- ・スライド荷台は同一スパンの設置が可能
- ・荷台を引込むことで安全快適作業
- ・40～50分で設置可能(初回設置)
- ・サポートジャッキでラクラク盛り替え

■「スカイプラットフォーム」設置方法



- ① 長さの異なるワイヤーとチェーンブロックにて本体に傾斜を付けます。
- ② サポートは番線等で本体に固定し、ともに揚重。

■「スカイプラットフォーム」スペック

最大積載荷重 (t)	1.0	1.5	3.8
荷台寸法(有効)長さ×幅 (mm)	2,400×1,296	3,540×1,700	3,428×1,816
張り出し寸法 (mm)	2,500	3,500	
張出し幅(荷台全幅) (mm)	1,510	2,066	
全長 L (mm)	5,900	7,730	
全幅 W (mm)	1,750	2,300	
手摺高さ (mm)	815	795	785
質量 (kg)	1,160	2,000	2,650
積載可能台数(目安)4t車 (台)	3	—	
積載可能台数(目安)10t車 (台)	5	4	3

◎「スカイプラットフォーム 1.0t」はアクティオオリジナル商品です。

■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』(算数とハートの経営 2014年 幻冬舎)。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっきくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械

を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

■本商品に関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ エンジニアリング事業部 建築部

TEL:03-6666-2548